



「仏教徒として」

薫風香る季節となりました。皆様方におかれましては、益々ご健勝の御事とお喜び申し上げます。昨年の晋山式に際しましてはご遠方よりご参拝下さいまして有り難うございました。またご丁寧なるお祝いを多数頂戴致しました事もこの場を借りまして御礼申し上げます。有り難うございました。最近の話。と言いますと、やはりチ

和をもって

第2号

発行
成相山成相寺
京都府宮津市字成相寺339
TEL0772-27-0018
<http://www.nariaiji.jp/>

ベットの僧侶の話をしなければいけないと思います。自治権獲得のために六十年間戦つてきてそして、今回も又立ち上がった人達の中に多くの僧侶がいます。チベットは仏教徒の国でありまして、ダライ・ラマ五世という方がおおよそ四百年前に仏教王国を築かれたそうです。その後中国との軋轢の歴史の中で、民族間の争いや宗教弾圧といった多くの問題を抱えて、現在に至っているそうです。

現在のダライ・ラマ十四世は、六十年前にインド亡命にされてその後、故国に帰る旅に出るのを心待ちにされているそうです。

仏教徒。先日、西国巡礼のお参りを始めようという方が「うちは、神道なんです、かまわないですかねえ。」とお尋ねになりました。

「観音信仰ですから宗派は問いませんが、お宅

様が納得されていたらよろしいでしょう。」ぐらいのお返事しか出来ませんでした。かくいう私はカトリックの幼稚園に通いましたし、住まいのお隣さんは宮司さんです。間違いない仏教徒ですが、いろんな方々とおつきあいをさせて頂きながら暮らしてきました。しかし最近の若い人の中には改めて「あなたの信じる宗教は」と尋ねられた時、「仏教徒です。」とはつきりとお答えになる方はそんなに多くないかもしれません。「親の葬式はお坊さんにしてもらいました。」とかの返事を聞いたことが何度あります。よく言われることですが、日本に本当の宗教は存在しなくなつたのでしょうか。

話がそれましたが、六十年前、チベット統一の時に毛沢東は「国家が宗教に振り回されると弱い劣つた国家になる。」と、まだ青年だったダライ・ラマに進言されたそうです。宗教を捨てて一致団結すると強い国家が出来、国民が豊かに暮らせるという事でしょうか。日本でも維新には寺院が破壊されたり戦後には宗教の自由という、新たなしづりが出来ました。現在も政治家

日本人には文化や宗教といったものに対して、特別の消化酵素とでも言うものが備わっているのではいけません。有り難いことに本手に付き合っている民族だと思えます。

一部の国では考えられないくらい大きな自由を私たちは享受しているという感覚を忘れていくのかもしれない。

「あなたの信じる宗教は」と誰かに尋ねられたら、皆様は観音様のお守りをお持ち頂いておりますので、「仏教徒です。」と胸を張ってお答え下さい。そして同じ仏陀の教えを聞くものとして、チベットの亡くなられた僧侶の方々のご冥福を皆様と共に祈りたいと思います。世の中の人々が幸せになるのは大変難しいですが、悲しむ人が一人でも少なくなるとありがたいですね。

自由であることを慈しむ心を思い出していきたくです。

これから、夏に向かいました暑い暑さになりそうです。皆様ご家族様、どうぞくれぐれもご自愛下さいませ。

南無観世音菩薩 合 掌



等の人達はおおびつらに特定の宗教を信仰してると言えなくなりまして。それでも日本人は上手に神さん仏さんと付き合ってきた。どちらも捨てず離れず大切にしてくださいました。

山内巡り

一願ひとこと地蔵さん

成相寺はその起源を飛鳥時代まで遡る事が出来ますが、実存しております書物や石碑はその多くが、平安時代後期より鎌倉時代の物です。

山内には時代の証言者となる、石碑や仏様が数多く祀られております。

このコーナーでは、「山内巡り」といたしまして、境内地の遺跡や仏様をご紹介致して参ります。

第一番

「一願一言地蔵」

（いちがんひとことじざう）

本像は本堂手前の石段の左側に安置されております。地蔵像は蓮華座からすべて一石から掘り出し、舟形光背を背負い、右手に錫杖を持ち左手は宝珠を持つて膝上に載せ、単弁の蓮華座にややうつむき加減に座っております。

顔面や衣の襷など細やかな彫りですが、鼻頂部が破損されております。長い間、戸外にお祀りされていた仏様ですが、割に保存が良くとされています。

地蔵の左側の舟形光背前面には

「大願主善阿」

同縁名収 康安二寅

二月十四日 敬白

と刻銘されております。



願主の法名「善阿」は山内の塔頭寺院の僧侶と見られ、結縁した多くの信者様の協力を得ての建立であると思われまます。

「康安」とは、南北朝時代の一三六〇年頃で、北朝の年号とされており、世の中は戦乱の時代です。足利尊氏や後に宮津の城主となった細川一族が世の中に台頭していた時代です。成相寺も僧兵や大名の城盗りといった、生臭い事件に巻き込まれた時代でしょう。

そんな中、この「善阿」という僧侶はどうして「一願一言」とされたのでしょうか。

現在の私達でさえ、一言で願いを表すのは大変難しいです。だからこそ、このお地蔵様は特別なのもかもしれません。

「おん・かかかび・さんまえい・そわか」

皆様も願掛けをされてはいかがでしょうか。

納経所だより

今回より、成相寺の納経所に勤めます我々が交代でこの「便り」をお送りしていきたくと思っております。まず第一回目は山主の家内でありまます石坪久美子が担当させていただきます。

いつもお世話様になっております。

私が納経所に勤めまして、早五年が経ちました。以前はお問い合わせにうまく答えられなくて、ぐずぐずと悩んだこともありましたが、最近はなんとか答えられる様になりました。成相寺にもう数え切れない位ご参拝頂いて帳面も真っ赤に染めておられるご主人が「ああ、又観音様にお会いできた。」と喜んで下さって、押す場所もないほどの帳面に朱印をさせて頂く時は私も感動してしまいます。観音巡礼にいらつしやる方お一人お一人のお力添えが出来ればと考えるはおりますが、何せふつつか者ですから、掃除が行き届かなかつたり、お行儀が悪かつたりと、本当にまだまだ修行中です。

今年もまた、ご開帳がございます。私達の代で二度もこの開帳をさせて頂けるのは無上の喜びです。無事務められます様、観音様にお願ひ致しました。皆様も是非ご参拝下さい。

お待ち致しております。

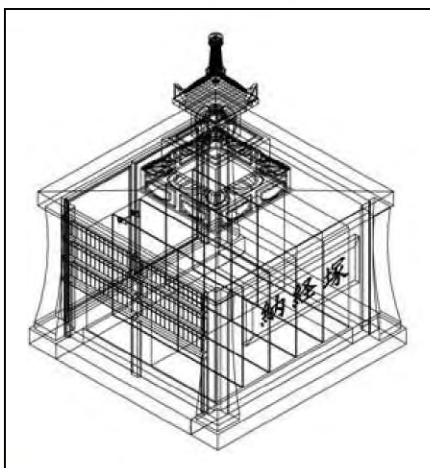
写経の会「古松の会」

昨年のご案内より多数のお申し込みを頂きました有り難うございます。事務手続き等で、まだ五重塔奉納の用紙を使用しておりますので申し訳ございません。在庫を鑑みまして変更致してまいります。

納経塚の図面が出来ました。

千巻お納めいただいた方にはステンドレスのご芳名札を据え付けさせて頂きたいと思っております。設置の時期等は現在未定です。気持ちを静めて写経をされますと心の修行になります、又新たな良い考えも巡ってきます。

一枚から受付させて頂いておりますので、どうぞお申し込み下さいませ。



第三号（十月発行予定）より、皆様からのお便りをご紹介させて頂きたく、募集致します。お寺宛てお送り下さいませ。